

東洋電機製造の100年を超える歴史

1918年に「鉄道車両用電機品の国産化」を企図して設立され、国内はもとより広く東洋各国へ製品を輸出し、国の発展に寄与したいとの壮大な想いが、「東洋電機製造」という社名の由来となりました。そしてこの想いは、歴代の社員たちに受け継がれ、今では当社の製品は世界の社会・産業インフラシステムの発展に貢献しています。

高度経済成長

1918～1949



当社社員と、提携先英ディッカー社の技術指導員との集合写真

1918 ●英国のディッカー社と技術提携し資本金300万円で創立

1919 ●横浜工場操業開始



操業開始当時の横浜工場（横浜市保土ヶ谷区）

創立
戦後

1920 ●直接制御器、主電動機を京阪電気鉄道へ納入

1921 ●わが国初の国産パンタグラフ完成

1926 ●三相交流整流子電動機（シュラゲ形、のちのASモータ）製作開始

1932 ●わが国初のトロリーバス用電機品完成
●わが国初の複巻電動機使用の回生発電ブレーキ付制御装置完成

1935 ●わが国初のディーゼル電気自動車完成、相模鉄道に納入

1949 ●株式を東京証券取引所（一部市場）に上場



初期の国産パンタグラフ



三相交流整流子電動機（シュラゲ形、のちのASモータ）

1950～1989

1950 ●ST型分巻整流子電動機（200馬力）開発

1952 ●わが国初の中空軸平行カルダン駆動方式完成

1958 ●国鉄特急型電車「こだま」用主電動機、制御装置完成

1959 ●自動列車停止装置（ATS）完成

1960 ●新幹線用主電動機、歯車装置試作
●パナマ運河曳船用電気機関車受注
●わが国初の車両用定速運転制御装置完成
●わが国初の船舶用油圧ウインチ完成

1963 ●新幹線向け電機品（パンタグラフ、主電動機、歯車装置）を国鉄に納入

1965 ●わが国初のサイリスタ静止レオナード装置シリーズ完成

1969 ●自動車用ブレーキ試験装置完成



中空軸平行カルダン駆動方式の主電動機と駆動装置（小田急電鉄SE車）



日本国有鉄道151系（特急型電車「こだま」）



パナマ運河曳船用電気機関車



日本国有鉄道0系新幹線電車

戦後復興

グローバル展開
100年のその先へ

1972 ●世界初の完全ブラシレス電動発電機（BLMG）完成

●わが国初の150kVA 440Hz静止形CVCF完成

1973 ●定期券発行システム完成

1977 ●大型自動製図機完成

1978 ●当社独自のAFEチョッパ装置を開発

1983 ●車内補充券発行機完成

1985 ●現在の横浜製作所竣工

●国鉄205系電車用に添加励磁式界磁制御装置納入

1988 ●世界初のヒートパイプ冷却式の8個電動機一括制御VVVFインバータ完成、東京急行電鉄に納入

1989 ●わが国初の逆導通GTOサイリスタを使用した小型VVVFインバータ完成

1990～2025

1990 ●わが国初のストローク切替形戸閉機械完成

●わが国初のインテリジェント・ドアシステム完成

1991 ●わが国初の1,500V量産形逆導通GTOサイリスタ使用の軽量VVVFインバータ完成

1997 ●自動改札機対応の車内補充券発行機完成

1998 ●わが国で初めて北京市に地下鉄電車用VVVFインバータほか電機品を納入（復八線）

2000 ●永久磁石同期電動機（EDモータ）完成

2004 ●わが国初の「フルフラット超低床LRV車両」を共同開発
●自動車用インホイールモータの開発・走行に成功

2007 ●交通系ICカード「PASMO」対応の定期券発行機を駅施設に納入

2008 ●汎用インバータ「VF66シリーズ」を販売開始

2012 ●JR西日本向け車掌用携帯端末稼働

2014 ●上越・北陸新幹線E7系向け電機品納入

2018 ●5月滋賀竜王製作所竣工
●6月東洋電機製造創立100周年
●鉄道用超電導フライホイール蓄電システムの委託研究開発を受注

2022 ●インタイヤハウスダイナモ®を用いた自動車の車両試験システムを納入
●愛知高速交通株式会社向けVVVF装置に遠隔監視システムを初搭載

●東京証券取引所スタンダード市場に移行

2023 ●インドネシア国産通勤鉄道向け新造車両用電機品を受注

2025 ●当社開発の車内補充券発行アプリにQRコード決済機能を追加



中国・北京市 復八線



米国・ロサンゼルス郡都市圏交通局P3010形LRV



インタイヤハウスダイナモ®